



Groszer / グロッサー

ブルゲンランド州 ズュートブルゲンランド ブルグ

ワイナリーのマネージャー、マルクス・パッハとエドガー・ブルトラーの2人は共に、アイゼンベルク周辺の地域の特徴を反映したワインを生産するという1つの目標を追求しています。約21ヘクタールのブドウ畑を所有し、畑があるアイゼンベルクは「ブラウフレンキッシュ」が有名な産地ですが、ピノ・ノワール、シラー、ロットブルガー(ツヴァイゲルト)も生産し、白ワイン品種も最高の畑で栽培されています。彼らの銘醸畑はSaybritz (サイブリッツ)は岩やスレートや茶系の土壌でミネラルが豊富、Szapary (ザパリー)は暖かく透水性のあるスレート土壌、淡い赤色の果実、チェリー、カラントの香りがする極端な細工、したがって非常にフルーティーなワインを生み出します。Hummergraben (ヒューメルグラベン)は水を貯蔵しやすいローム質の土壌から強度と密度を得ています。、Königsberg (ケーニスベルグ)は砂質で透過性のローム土壌で構成されています。ロットブルガー(ツヴァイゲルト)に良い条件を提供し、これらのブドウは印象的な構造を持ち珍しい強く、ほとんど男性的なワインの基礎を築きました。Kroatische Ried (クロアチシェ・リード)この地域には石のスレート質の土壌があり、ワインは純粋な鉱物のニュアンスが与えられます。Csaterberg (ツァーターベルク)の土壌はオパールでごちゃごちゃしており、アイゼンベルクDAC地域の特別な地質学的特徴です。オパールは断片、破片、または重い石としてブドウ畑の地面に横たわっています。ネッケンマルクトは比較的高い場所にあり、畑の標高は500m。高い場所の土壌は、シスト(片岩)、片麻岩、石灰岩など多様で、下の方の畑は、鉄を含むロームや火山系粘土と様々です。そして畑は単一栽培ではなく、常にオーガニックな状況を保ちハーブやいろんな植物が共生しています。



Gemischter Satz Weisz 2021

ゲミシュター サッツ ヴァイス

品種： ウェルシュリースリング / グリュナー・フェルトリーナー / ヴァイスブルグンダー / ゲルバー・ムスカテラー / シャルドネ

アルコール度数 11.8%

白ワイン 辛口 750ml

参考上代：2,800円(税別)

全ての葡萄は一緒に収穫され、発酵。ゆっくりと発酵させることでフレッシュな白ワインが生まれます。ステンレスタンク発酵、大樽にて熟成。この栽培方法は19世紀まで中央ヨーロッパで一般的に行われていましたが、現在では復活を遂げています。パイナップルやパッションフルーツ、アプリコット、ピーチ、フレッシュな柑橘類の香りが密に絡み合ったエキゾチックな香り。口に含むと、魅惑的な果実の甘みがあり、心地よい酸味とバランスが取れています。



Blaufränkisch

Eisenberg DAC 2019

ブラウフレンキッシュ

アイゼンベルグ DAC

品種： ブラフフレンキッシュ 100%

アルコール度数 13.0%

赤ワイン 辛口 750ml

参考上代：3,200円(税別)

オーストリアで最も有名なブドウ。ブラウフレンキッシュ。南ブルゲンラント地方の典型的な、古代の晩熟赤ブドウ。さまざまな土壌条件に優れた利点をもたらします。フォレストベリーやチェリーフルーツの繊細なニュアンスに、スレート土壌で栽培されており、ワインに正確さと鮮やかな果実味を与えます。隣接するケーニスベルクとクルムの土壌はローム質が多く、ワインに骨格と力強さを与えています。ステンレスタンクと1600リットルの木製樽で熟成されました。8ヶ月の熟成後、ステンレスタンクですばらく寝かせました。